

まごころ便り

平成23年9月7日

初秋の頃となりました。皆様お元気でいらっしゃいますでしょうか。

高専賃まごころの家では、暑い夏の間、水分補給と室温管理を入居の方々にお願いし、体調を崩されないように過ごしました。お陰様で皆様元気に夏を乗り越えられようとされています。



5月には藤の花の鑑賞や嘉川地区にお住まいのお宅のオープンガーデン鑑賞に出かけました。



皆さん自然の植物から生きる力を頂かれたようで、帰りの車中では表情がいきいきとされていました。

6月には新たな挑戦でしたが、梅干し作りを行いました。梅の塩漬、赤紫蘇の塩漬、梅の本漬と皆さん「昔取った杵柄」で、いろいろな意見が出る中を、どうか梅干しが色良く漬かってきています。「早く食べたいね」と毎日漬かり具合を眺められています。上手く梅干しになるか、職員もドキドキです。

7月には七夕飾りを作り、皆さんそれぞれ願い事を書かれました。「健康でいたい」「まごころのみんなと仲良く暮らしたい」「最期まで元気でいたい」…。皆さんの願いがみ～んな叶うといいなと思います。



7月16日はまごころの家の夏祭りでした。天候に恵まれ、暑い日の夕方職員が浴衣姿になり、皆さんと銭太鼓を演奏し、ゲームや花火を楽しみました。全員で炭坑節を踊り、楽しい暑いひとときを過ごしました。



7月18日に嘉川駅近くに来春開設予定のはるかぜの丘の上棟式が行われ、入居者の方とともに餅まきに参加しました。皆さんとても元気にお餅を拾っていらっしゃいました。



8月には、職員もハラハラのそうめん流しを行いました。流す竹と汁を入れる器は職員の手作り！箸は入居者の方とともに作りました。夕食時にそうめん流しを行いました。日頃箸を使われない方もしっかりと手作りの竹箸を使って上手にそうめんを掴み上げて召し上がっていました。夏で食欲が減退されていた方も、美味しそうに、

楽しそうにそうめんを召し上がっていました。「美味しかった」「楽しかった」「初めてじゃった」の声に、準備と暑さに滅入っていた職員は元気を取り戻せました。

皆様の5月から8月の様子をお知らせします。詳細をお聞きになりたい方は高専賃職員までご連絡ください。